

和文化講座

「すべての基本は茶道から日本の伝統文化を今に活かす」

田中 賀鶴代

有限会社 アリカエンタープライズ 代表取締役社長

【内容】

約150年前に西洋式生活のための創案されていた茶道のお点前をご紹介します。現代、茶道とは一部の人の嗜好となっています。

しかし、お茶の世界は別段特別なものでなく、実は普通の生活の所作の中に生きています。

私生活の中での付き合いや、会社でのお客様に対する接客だけでなく、

プレゼンテーションなどにも、その相手を思いやる気持ちを伝える方法として考えることが出来ます。

現代社会に通じる「おもてなしの心」を茶道の歴史からひも解いていきます。なぜ一流と言われる人は「茶道」をたしなむのか？

昔のビジネスマン(武将・商人など)がより良いコミュニケーションとおもてなし術を考え、行き着いたのが茶の湯と考えています。ビジネスだけにとどまらず、海外との様々なコミュニケーションとしても、自国の文化を知っておくことの大切さをお話いただきます。

プロフィール

田中賀鶴代

有限会社アリカエンタープライズ

代表取締役社長

1991年「和 문화의魅力を世界に発信、和魂洋才でプロデュース」をコンセプトに講演、セミナー・イベント・企画サービスを提供する有限会社アリカエンタープライズを設立。

茶の湯の精神をビジネスマナーに取り入れた講演や研修「この方に仕事を任せたいと思っていただける人になるために」「この企業はなぜ茶の湯を学ぶのか」「ビジネス茶事」「マインドフルネスと禅」などを年間約100回こなす。

国内外でのテーブル茶道「盆略点前(ぼんりゃくでまえ)」を広める活動は京都市「まちづくり・お宝バンク」のSDGs活動に認定されている。国内外の障害を持った方への茶道の普及にも力をいれている。

2019年から和束茶のサブスク、茶農家さんとオンライン茶会をはじめ、2022年には京都府の

「もう一つの京都 観光資源発掘事業」認定され和束茶と京都の伝統工芸をお届けするまで

広がっている。2022年顧問先の株式会社アドナース様がからすま京都ホテルに「ハンケイ5mショップ」を

オープンするにあたりコンセプトを「和文化×福祉」「車いすで茶道体験ができる店」に決め、バリアフリーの茶室を作り、和文化体験、SDGsなセレクトショップを展開企画立案、運営、スタッフ教育に携わる。

茶道を軸に多様性で唯一無二の世界を提案し続ける。ユニバーサル茶道と提唱している。

茶道裏千家準教授、元京都観光おもてなし大使(2016年～2023年)、2023年 京都観光サポーター(京都市)、京都府文化観光大使(2017年～)、茶源郷・和束PR 大使(2017年～)、「伝統文化をポップに伝える 京ピポ」代表、茶縁Kyoto代表、車いすおもてなし隊 代表
経済産業省 2024年 J-StarX WSLab 女性起業家海外派遣セミファイナリスト(シリコンバレー)に選ばれる。

座ってオシャレなファッションスタイル「#すわりコーデ」監修、ユニバーサルマナー検定2級所得、重度訪問介護従事者養成研修統合過程修了

2024年 京都市障害者雇用促進アドバイザー就任 EXPO2025大阪・関西万博 フェスティバル・ステーションで公演 ititok+iko プロジェクト



どうして、一流といわれるひとは茶の湯をたしなむのか

おもてなし

礼儀作法

コミュニケーション

美的感性

大いなる癒し

人間の教養と品格を高める茶の湯と抹茶の効用

おもてなしの意味

「おもてなし」

「御持て成し」

「真心を持って、成し遂げる」

=「持って成し」=「もてなし」

「表なし、裏なし」=「おもてなし」(表裏のない人)

茶道は日本文化を網羅、凝縮した総合芸術

- 茶道は総合芸術

庭、建築、書、絵、竹、塗り、陶器、料理、酒、鉄、
花、など日本の伝統芸術、工芸など日本文化を網羅

天下人の裏に茶の湯あり

茶頭(さどう)の存在

信長公、秀吉公、天下人がなぜ茶の湯を愛したか

臨機応変、変幻自在の精神力を養う

茶道の禅語

一期一会 (いちごいちえ)

喫茶去 (きっさこ)

帰一 (きいつ)

四規

わけいせいじゃく

和 仲の良いこと

敬 ものにも人にも尊敬すること

清 心清らかに

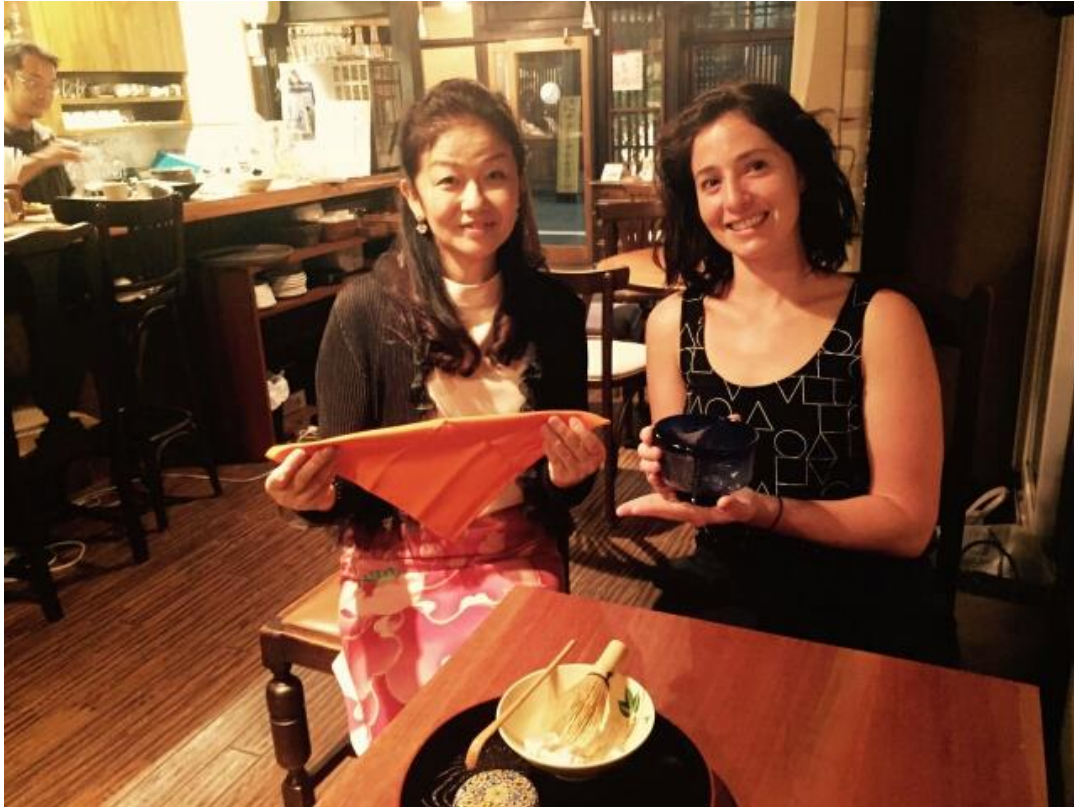
寂 何事にもどうじない心



ビジネスマンの茶道サークル



国際交流のためにできたテーブルでする盆略点前



知の結集 「テーブル茶道 盆略点前」展開例



車いすおもてなし隊

- 2017年10月28日(土)、京都市左京区「岡崎公園」特設野外ステージ(平安神宮前)に行われたNHK主催のイベント『バリコレ2017』の京都市ブース内で、「車いすおもてなし隊」の8名は京都観光おもてなし大使の田中賀鶴代の指導の下、「テーブル茶道 盆略点前」の腕前を披露しました。
- 当日は「なかの孝株式会社」さんの協力でユニヴァーサル着物(車いすユーザーでも簡単に着脱できる着物)を着用し、全員が着物を着てのお点前を披露しました。



ITの実証実験

Knowledge Innovation Award 5th. ナレッジキャピタル部門エントリーシート ※A3用紙で出力してください。

事務局記入欄	企業・団体、または個人名(フリガナ) タナカ カツヨ 田中 賀鶴代 (ナレッジサロン会員・木曜サロン登壇者)	有限会社アフリカエンタープライズ 代表取締役 京都観光おもてなし大使
タイトル(フリガナ) テーブルでする盆路点前「茶禅一味」による ナレッジサロン会員IT技術者のリフレッシュ検証実験		

■応募内容について、以下の選考基準より特にアピールしたい項目をお選びください。(複数可)

- | | |
|---|---|
| ☒ 新しい組み合わせやコラボレーション要素がある | ☐ デザインが優れている |
| ☐ エンターテインメント性など人の心を強く掴む要素がある | ☐ 事業化の可能性が高い |
| ☒ 世界的な広がりを感じる要素がある | ☒ 社会的影響力を持ち、社会変革の可能性がある |
| ☐ 革新的なアイデアがある | ☐ 先端技術や技術改良などの工夫がある |
| ☒ 継続的な活動により、業績やイメージブランディング向上に寄与している | |

■応募内容の特長、アピールポイント、キーワード等を50字以内で明記ください。

世界発信ビジネス企業の社員間コミュニケーション手段としての
テーブルでする盆路点前「茶禅一味」の提案

■応募内容の紹介

※これまでの活動、現状の成果、今後の展望等をご記入ください。
※活動に関わる日時・期間も明記ください。

状态的に厳しく特殊な環境におかれながら業務を行っているといわれている「IT技術者」に対して、テーブルでする盆路点前「茶禅一味」が技術者の心を癒し、豊かな感受性を創出することや業務効率の向上に繋がるかをナレッジサロンプロジェクトチームにて検証実験しました。



11/2(木)、11/9(木)、11/16(木)の計3日間(14時～16時の間)で、お一人約10分ずつ、10名の方に盆路点前の体験をしていただきました。体験前後でバイタルチェックを行い、変化を測定しました。

<チェック項目>
・血圧(最高)・血圧(最低)・心拍数・ストレス指数
・当日インタビュー・後日インタビュー

※ナレッジサロン会員検証実験協力者(IT技術者10名)

川崎さん 有田さん 堀島さん 北川さん 神野さん
市野さん 富田さん 橋本さん 山本さん 藤田さん



※企画実現まで多額の予算、人件費の投入が必要となります。また、実施期間中に発生するリスクも考慮する必要があります。
※一次選考を通過した作品に関しては、ご記入いただきましたテキスト・画像をナレッジキャピタルの広報活動等に活用させていただきます。
※本エントリーシートに記載される内容については、各権利関係にご注意ください。いかなる第三者からの無断転載や盗用がなされた場合、法的責任を負う可能性があります。
万一、第三者からの権利侵害、損害賠償などの主張がなされたときは、応募者が自らの責任で対応してください。主催者側は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

KNOWLEDGE
CAPITAL
Award

■添付画像及び紹介文

画像やキャプション、テキスト等自由にレイアウトください。
※読める、わかる解像度をご確認ください。

和と文化精神をいれた、おもてなしビジネスマナーを日本のビジネス・スピリッツとしてご提案

茶道の精神「和敬清寂」

「和(わ)」とは、お互いに心を開いて仲良くすること
「敬(けい)」とは、お互い敬い合うこと
「清(せい)」とは、心の中も清らかであること
「寂(じやく)」とは、どんなときも動じない心



この4つの文字には、すべてのお茶の心がこめられているといわれています。

～ 検証実験結果 (※10名のバイタル数値の平均値) ～

2017/11/2(木) 1回目		2017/11/9(木) 2回目	
事前バイタルチェック	事後バイタルチェック	事前バイタルチェック	事後バイタルチェック
血圧(最高)	135.9	129	132.1
血圧(最低)	89.7	80.6	79.9
心拍数	72.3	70.1	72.3
ストレス指数	50.2	59.2	56.1

<当日インタビュー>
・今日の朝から体調が良く、おもしろい体験ができました。
・普段は忙しくて、お茶の時間がないので、お茶を飲むことができて良かったです。
・後日インタビュー
・いい経験ができました。お茶の精神が伝わってきたので、心が落ち着きました。
・今日の朝から体調が良く、おもしろい体験ができました。
・普段は忙しくて、お茶の時間がないので、お茶を飲むことができて良かったです。
・後日インタビュー
・いい経験ができました。お茶の精神が伝わってきたので、心が落ち着きました。
・今日の朝から体調が良く、おもしろい体験ができました。
・普段は忙しくて、お茶の時間がないので、お茶を飲むことができて良かったです。

2017/11/16(木) 3回目

事前バイタルチェック	事後バイタルチェック
血圧(最高)	129.8
血圧(最低)	83.2
心拍数	69.7
ストレス指数	48.6

この3回を通じて、皆さんと一緒にですが、心が通じたように感じました。一番興味深かったのは、皆さんの茶碗の選び方です。殆ど全員が利休さんが好んだ「黒楽茶碗」を選んだこと。如何に皆さんが、清寂や茶の湯、作ばぬの境地を求めているかを物語っているように感じました。

<当日インタビュー>
・今日は初めて、お茶の精神が伝わってきたので、心が落ち着きました。
・今日の朝から体調が良く、おもしろい体験ができました。
・普段は忙しくて、お茶の時間がないので、お茶を飲むことができて良かったです。
・後日インタビュー
・いい経験ができました。お茶の精神が伝わってきたので、心が落ち着きました。
・今日の朝から体調が良く、おもしろい体験ができました。
・普段は忙しくて、お茶の時間がないので、お茶を飲むことができて良かったです。

おわりに

「テーブルでする盆路点前」は、忙しい現代人にとって茶の湯の世界への入り口となり、リラックスできる場からコミュニケーションの場へ、そして心癒い学ぶ場となって、さらに日本人としての深い文化教養を身につけ、それを現代社会に活かす。発展へ繋げていく。そんな可能性を秘めた活動であると考えています。そして、和を大切に、人やモノに敬意を心算に、動じない心を持つことを日本のおもてなしビジネスのスピリッツと定義づけ、世界に発信するお手伝いがしたいと考えています。

日タイ修好130周年記念 タイ訪問、呈茶



フォトアルバム

第12回ベトナム・インドネシア・日本コンテストにおける日本文化紹介事業 (2017年12月2日)



品物点前 (於 在タイ日本国大使館) (2017年11月20日)



タイ プミポン前国王のご仏前の前で献茶



プミポン前国王が出家修行をされて、
ご仏前が納められている
ボーウォンニウエート寺にお参りして、
献茶させて頂きました。

お寺の方も献茶することを大変喜んで
下さり、前国王記念のお写真を拝受し
ました。

中国杭州文化創意博覽会にて



海外での活動実績

(関西領事団創立150年記念総会で各領事ご夫妻とともに。伊藤若冲講演茶会)



和文化を学ぶ「また会いたいと言われる人になるため」のヒント

■なぜ今「テーブル茶道 盆略点前(ぼんりゃくてまえ)」？

国際交流のためにつくられた「盆略点前」をマスターして真の国際人になる

この点前は13世円能齋の創案になったもので、茶の間でも洋式の室でも、どこでも手軽にお茶がたてられるように工夫した、非常に応用範囲の広いものです。

～裏千家茶の湯 鈴木宗保・宗幹より抜粋～

「真の国際人になるために」海外の方は交流するときに自国の文化を持っていることを我々に期待しており、文化交流をビジネスやおつきあいで愉しみたいと考えています。

自国の文化を学び、それを発信ができることが真のコミュニケーション。

茶道の世界はもともと戦国時代当時のビジネスの場所であり、おもてなし、礼儀作法、落ち着き、経営指針、コミュニケーション力、美的感性を鍛え教養と品格をたかめます。「創発」「気配り」がどんどんできた人が出世したり、人気がでていきました。私はこの茶道の世界から学ぶべき良いところをビジネスや暮らしに活かし「創発運動」を広げながら、日本を支える「おもてなし接遇マナー」をご提案してまいりたいと思います。

※「創発」とは予想できないことが起こったときに心温まる対応をすること。

利休七則

千利休居士 戦国時代から安土桃山時代時かけての茶人
日本初のクリエイティブ・ディレクター・プロダクト・デザイナー
堺商人(ビジネスマン)、目利き、見立て、キャッチコピーの達人
天下人の茶頭など多彩な活躍

1. 茶は服のよきように点て
2. 炭は湯の沸くように置き
3. 花は野にあるように生け
4. 夏は涼しく冬暖かに
5. 刻限は早めに
6. 降らずとも傘の用意
7. 相客に心せよ